

一般社団法人 土の香工房

(新潟県上越市)

～枝豆の生産・加工による雇用拡大と地域活性化～



栽培管理作業



枝豆の加工所



加工作業



枝豆きな粉

経緯

- 新潟県内では数少ない就労継続支援A型事業所として、障がい者の就労機会拡大のため、平成27年から農福連携に取り組む。
- 自社農園（約50a）において、上越市の振興作物である枝豆を中心にハーブ、イチジク等を生産。
- さらに以前、海産物（メギス等）の加工（フリーズドライ）をしていた経験があることから、この加工技術を活用して平成30年度から「枝豆きな粉」の製造にも取り組む。

取組

- 平成30年度農山漁村振興交付金（農福連携対策）を活用して「枝豆きな粉」の加工所を新設。これにより、通年的に加工できる体制が整備され、市内農家からも枝豆を受け入れ量産化が可能となった。
- 「枝豆きな粉」の主な販路は地元企業（菓子業者等）であり、年間を通じて安定した価格で供給（取引）することにより、収益と雇用の確保につながった。
- 現在、精神障がい者を中心とした約10名を年間を通じて安定的に雇用しており、障がい者は栽培管理や収穫、加工、販売まで幅広い業務に携わっている。

今後の展望と課題

- 枝豆の加工等により事業が安定化、今後、生産規模と市内農家からの受け入れ拡大によって加工量を増やし、障がい者の更なる雇用拡大（約20名へ倍増）を図りたい。
- 上越市が振興する地域ブランド「メイドイン上越」の一つである枝豆を活用した新たな特産品（ソフトクリーム、せんべい、パン、豆腐、餅等）を開発して地域活性化に貢献したい。